

**第 20 回日本乳房炎研究会学術集会**  
**20 周年記念シンポジウム**  
**開催のお知らせ**

**日 時**：平成 27 年 10 月 9 日（金）10：00～17：00（9：30 受付開始）

**場 所**：国立科学博物館

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

（今年は、昨年と会場の場所が変更になっておりますので、ご注意ください）

**参加費**：会員 3,000 円，一般 5,000 円，学生 1,000 円

**ポスター発表の演題募集中**：9 月 9 日（水）締切

**内 容**：

**【20 周年特別企画 - I ヒトの乳腺炎と牛乳房炎の特徴を比較してみる】**

座長：麻生 久（東北大学）・河合一洋（麻布大学）

基調講演「ヒトの乳腺炎の特徴とその診断，治療について」

涌谷桐子（NPO 法人日本ラクテーションコンサルサント協会）

討論講演「牛乳房炎の特徴とその診断，治療について」

河合一洋（麻布大学）

ランチョンセミナー（共立製薬株式会社協賛）

「ワクチン・乳房炎コントロールの一つの手段 ～ヨーロッパの経験～」

Dr. Michal Pochodyla（HIPRA 社） 通訳付き

ポスターディスカッション・企業ブース・博物館見学

「乳房炎研究会の歩みを顧みて ～免疫学，炎症生化学の側面から～」

小原嘉昭（明治飼糧株式会社）

**【20 周年特別企画- II 乳房炎の予防を考える】**

座長：野地智法（東北大学）・林智人（動物衛生研究所）

特別講演「乳腺組織内における細菌のバイオフィーム形成について」

Dr. Antoni Prenafeta（HIPRA 社） 通訳付き

討論講演「粘膜免疫機構からみた乳房炎ワクチン開発の可能性」

林 智人（動物衛生研究所）

「乳房炎地方協議会等と連携した乳房炎研究を目指して」

河合一洋（麻布大学）・林 智人（動物衛生研究所）

総会

日本乳房炎研究会高居百合子学術賞授与式

\* 閉会後に情報交換会（講堂にて立食）があります。是非ご参加下さい。（参加費 4,000 円）

**問合せ先**：日本乳房炎研究会事務局

〒981-8555 宮城県仙台市青葉区堤通雨宮町 1-1

東北大学大学院農学研究科内

（事務局長 林 智人〈動物衛生研究所北海道支所〉）

E-mail：nipponmastitis@ml.affrc.go.jp

URL：http://www.agri.tohoku.ac.jp/keitai/nyubou/index-j.html